

仙台市「脱炭素先行地域」の取組みにより —「JR フルーツパーク仙台あらはま」に太陽光設備を導入— バイオガス電力との併用により再エネ電力 100%利用の施設運営を行います

仙台ターミナルビル株式会社(本社:仙台市、代表取締役社長:松崎哲士郎)が運営する JR フルーツパーク仙台あらはま(以下、当施設)では、宮城県仙台市が国から選定された「脱炭素先行地域」計画に基づく取組みとして、「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」を活用した太陽光発電設備を設置し、2025年2月3日(月)より発電を開始いたします。また、当施設は、JR 東日本グループのエキナカ・駅ビルなどから排出される食品廃棄物をバイオガス化し、生み出された再生可能エネルギーを利用する『電力リサイクルループ』へ参画しており、現地で生み出された太陽光発電とのハイブリッドによる再エネ電力 100%での施設運営を実現します。

1. 取組みの背景と目的

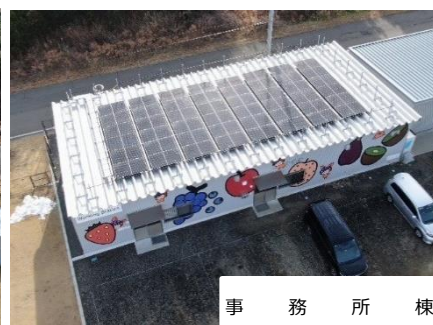
本取組みは、仙台市が国から選定された「脱炭素先行地域」の事業の一つとして、「東部沿岸エリア」に立地する JR フルーツパーク仙台あらはまへ、「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」を活用した太陽光発電設備が導入されたものです。

なお、「脱炭素先行地域」の取組み等につきましては、同時にプレスリリースされている仙台市の記者発表資料をご参照ください。

2. 太陽光発電設備の概要

<JR フルーツパーク仙台あらはま>

- 最大出力：122kW
- 太陽電池枚数：268 枚（455W×268 枚）
- 年間発電推定量：129,940kWh
- 施工：株式会社ラックランド



3. 電カリサイクルループとは

JR東日本グループは、エキナカ・駅ビルなどから排出される食品廃棄物をバイオガス化し、生み出された再生可能エネルギーをグループ内施設で利用する『電カリサイクルループ』を2024年4月より順次実施し、当園では2024年7月より利用しております。



◆JRフルーツパーク仙台あらはま 営業時間について (2025年2月3日(月)現在)

■営業時間 (毎週火曜定休)

あらはまマルシェ 10:00～16:00

カフェレストラン レポム 11:00～16:00

<本プレスリリースに関するお問い合わせ先>

仙台ターミナルビル株式会社 担当：佐藤・阿部

TEL：022-267-2111 070-1558-7764 Fax：022-227-3380

◎本プレスリリースは、エスパル HP でもご覧いただけます。(<https://www.s-pal.jp/news-release/>)

◎本プレスリリースは、2025年2月3日(月)時点の情報です。今後、変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。